

平成 21 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471901338	事業の開始年月日	平成 14年4月1日	
		指定年月日	平成20年4月1日	
法人名	社会福祉法人 三磯会			
事業所名	グループホーム みうら富士			
所在地	(239-0842) 横須賀市長沢 6-45-6			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	9名	
		ユニット数	1 ユニット	
自己評価作成日	平成21年11月15日	評価結果 市町村受理日	平成22年2月13日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

な地理的条件を生かし、穏やかな生活を送って頂けるようにスタッフの行動をゆとりを

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPRATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8SYビル2F		
訪問調査日	平成21年12月9日	評価機関 評価決定日	平成22年1月29日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴
 ①この施設は横須賀市からショート30床作って欲しいと云われ、そのうち9床を念願のグループホームとの考えで社会福祉法人を申請、認可され開設した。同じ建物内に居宅介護支援、デイ、ショート、訪問介護、在宅支援センターそしてグループホームがあり、いろいろな側面からのアプローチが可能で多機能性を備えている。これら6機能が入居するため建物の設備は行き届いていて、消防ではスプリンクラー及び直通電話の完備、消臭では空気清浄用オゾン発生装置、入浴ではデイに機械浴の完備、専門業者によるリネン対応などグループホームの基準をはるかに上回る対応が為されている。ロケーションはYRP野比からバスで10分程度の丘の中腹にあり、緑と桜並木、NTT通研のあるリサーチパークの付近に位置する。経営は三磯会で、短く明快な理念を職員で考えた介護理念10項目に展開し、介護の格言も掲げ日々介護に努めている。訪問すると犬たちが歓迎してくれる明るいホームである。施設のホームページはソフトな、親しみ易い構成となっており、愛玩犬の映像を見て相談に来られた方もいる。利用希望者には是非見て頂ければと思う。理念、倫理等を纏めた小冊子「みうら富士.COM」を毎週木曜日に読み合わせをし、周知に努めている。
 ②地域との交流では、近所に民家が少なく、交流を持ちにくい環境であるが、広いエントランスホールがあり、デイ、ショートの利用者と交流し、ここでボランティアの演芸もあり一緒に楽しんでいる。また、運営推進会議の事業所会議により地域とのパイプも広がっている。中学生の体験学習の受入れ、地域のお神輿の休憩所の提供により利用者はお神輿を楽しむことが出来る。
 ③ご家族、利用者、職員とのコミュニケーションでは、年3回程度の家族会は11時頃に集まり、一緒に昼食作りをし、一緒に食べ、早おやつをして解散する形で進めている。介護の方針については入所時の生活暦のアセスメントを「みうら富士.COM」の精神で加筆し、居室担当による提案でカンファレンスを行い、職員は暖かい見守りで利用者と共に喜ぶ良い職場環境が構築されている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム みうら富士
ユニット名	

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員が意見を出し合い理念を作成したので、実践の場に生かされている。	職員が意見を出し合い理念を作成したので、実践の場に生かされている。施設のホームページはソフトな、親しみ易い構成となっており、愛玩犬の映像を見て相談に来られた方もいる。利用希望者には是非見て頂ければと思う。理念、倫理等を纏めた小冊子「みうら富士.COM」を毎週木曜日に読み合わせをし、周知に努めている。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域的に人家が少なく、人通りが少ない。施設内が複合施設でショート・デイがあるのでその利用者さんとの交流がある。	地域との交流では、近所に民家が少なく、交流を持ちにくい環境であるが、広いエントランスホールがあり、デイ、ショートの利用者と交流し、ここでボランティアの演芸もあり一緒に楽しんでいる。また、運営推進会議の事業所会議により地域とのパイプも広がっている。中学生の体験学習の受入れ、地域のお神輿の休憩所の提供により利用者はお神輿を楽しむことが出来る。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者さんが重度化し、町内の行事に参加できなくなり、地域へは貢献できていない。相談がある方には対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族のメンバーや民生委員からの意見は十分とりあげている。	ご家族のメンバーや民生委員からの意見は十分とりあげている。横須賀市方式で年2回の地域会議と年4回の事業所会議(民生委員2名を中心としてご家族2名とホーム関係者2名)で行っている。はじめはホームの見学を行い、後は報告を中心に進めている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域運営推進委員会には市担当者が出席されるので連携できている。	地域運営推進委員会には市担当者が出席されるので連携できている。横須賀市は福祉に熱心であり、グループホームを良くバックアップしてくれており、空室情報なども流し、市民の便に供している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠は夜間のみで、十分観察し危険のないように注意している。	施錠は夜間のみで、十分観察し危険のないように注意している。この施設には広いエントランスホールがあり、デイ、ショートの利用者と交流し、ロビーが1つのコミュニティとなっており、閉塞感解消に役立っている。	今後の継続	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている				
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は必要のケースはない。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用開始時に十分説明理解いただいている。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会でご意見を頂く。また運営委員のメンバーをお知らせして、ご意見等伝えて頂けるようにしている。	家族会でご意見を頂く。また運営委員のメンバーをお知らせして、ご意見等伝えて頂けるようにしている。年3回程程度の家族会は11時頃に集まり、一緒に昼食作りをし、一緒に食べ、早おやつをして解散する形で進めている。介護の方針については入所時の生活暦のアセスメントを「みうら富士.COM」の精神で加筆し、居室担当による提案でカンファレンスを行い、職員は暖かい見守りで利用者と共に喜ぶ良い職場環境が構築されている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ミーティングを開き運営ケア全ての面で意見を出してもらっている。	毎月ミーティングを開き運営ケア全ての面で意見を出してもらっている。ミーティングは自由に物が言える体制で行われ、お互いのはげましなどにより、働く活力を生んでいる。X'mas会の企画については職員が話し合っ決めてるなど自主性に富んだ活動が行われている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	グジョブカード・研修報告等を参考にし次のステップを考えている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県・市や協議会等で計画された研修会には出来るだけ参加を勧めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	協議会による交流研修等利用している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人の自宅を訪問等し本人との接点をおおくもつ。コミュニケーションをとることにより、御本人の要望等把握できる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に本人の自宅を訪問等し本人との接点をおおくもつ。ご家族を含めてコミュニケーションをとりよい関係が出来ている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接・訪問時に必要なサービスを考え家族・本人と検討し手配している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一連の家庭的な作業を共に行うことにより、暮らしの仲間と意識付けられている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との関係を密にしお互いに協力し職員では解決できないことは、家族にお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会を制限することなく、交流することにより継続できている。	面会を制限することなく、交流することにより継続できている。地域との交流では、近所に民家が少なく、交流を持ちにくい環境であるが、広いエントランスホールがあり、デイ、ショートの利用者と交流し、ここでボランティアの演芸もあり一緒に楽しんでいる。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自然と気が合う同士が出来てくる。かみ合わない会話の中にも交流が出来る。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	自宅に退去された方もショートステイご利用時など相談に寄せられたり、亡くなられた方も電話等で相談励ましをしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時これまでの生活歴をお聞きし検討している。	介護の方針については入所時の生活歴のアセスメントを「みうら富士.COM」の精神で加筆し、居室担当による提案でカンファレンスを行い、職員は暖かい見守りで利用者と共に喜ぶ良い職場環境が構築されている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時これまでの生活歴をお聞きし検討している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事量・時間の過ごし方等お一人お一人に合った生活をしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングで検討し立案から変更モニタリングを行っている。	ミーティングで検討し立案から変更モニタリングを行っている。居室担当制をとり、担当の入居者のアセスメントの提案をカンファレンスでするようにしている。職員は暖かい見守りで利用者と共に喜ぶ良い職場環境が構築されている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の援助記録を基に考え問題の抽出を行う。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	認知症の症状により計画に上げても状況判断で変更している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行動範囲内の資源の活用をしている。外気を感じたり、紅葉を見たり出来る。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時連携医の説明をし納得のうえ主治医となり医療をうけている。	入居時かかりつけの連携医の説明をし納得のうえ主治医となり医療をうけている。かかりつけ医は月1回往診に来ており、インフルエンザの予防注射など健康管理も行ってきている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に異常の報告をし看護師の指示を受けている。共に看護していく。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携病院を利用し、出来るだけ早期に退院するようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化については常々家族会等で話し合い終末期の迎え方もその時期に承諾を得て看取りを考えている。	重度化については常々家族会等で話し合い終末期の迎え方もその時期に承諾を得て看取りを考えている。ターミナル寸前には医師、家族と三者で話し合い方向を決めている。職員は、ご家族と同じように思っており、最後までお世話したいと云う気持ちの人が多い。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時又は事故発生時は緊急処置の指示を看護師から受ける。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	耐火構造でスプリンクラーの設置あり耐震構造になっている。	耐火構造でスプリンクラーの設置あり耐震構造になっている。鉄筋の堅牢な構造であり、災害時に近所に貢献出来ると考えている。みうら富士全体としての備蓄を持っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として敬って処遇している。失禁等他の方には気付かれぬように処置している。	人生の先輩として敬って処遇している。失禁等他の方には気付かれぬように処置している。職員会議等で折にふれてお互いに注意しあうようにしている。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事の好みや生活習慣等をわきまえた上で表出できない部分にも支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の好みや生活習慣等をわきまえた上で表出できない部分にも支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った衣服を用意し好み確かめている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在は重度化し自分のことが出来ないようになってきている。	現在は重度化し、お手伝いも、自分のことも出来ない状態であるが、できた時は一緒に行っていた。グループホーム所期の目的である、利用者の希望を聞き、一緒に買い物をし、独自の献立で作る体制を続けている。生協の食材や近所のスーパーから食材を仕入れ、バランスのとれたメニューであると栄養士にも誉めて頂いている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立を栄養士に見てもらうこともあり、水分は確実に取れるように習慣付けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を利用し時間を見計らいトイレに誘導している。	排泄チェック表を利用し時間を見計らいトイレに誘導している。おむつをしない、パットを汚さないうちにトイレに誘導し、ことある毎にトイレの習慣をつけるよう努めている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々チェックし使用に慣れた薬を用いている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	浴室の関係である程度曜日を決めているが、湯の温度・順序を好みに合わせている。	浴室の関係である程度曜日を決めているが、湯の温度・順序を好みに合わせている。浴槽は大きく、2人でも入れる。週2回、日を決めて入るようにしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は強制することなく、昼寝できる方は自由にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理は看護師が完全に行い、状況の変化に応じ医師とも相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ボランティアの方や職員で工夫し皆さんが好きな歌の時間を作っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設で大型の車があり、車椅子での外出をたまには計画する。	施設で大型の車があり、車椅子での外出をたまには計画する。(年2~3回程度)初詣には車で出掛ける。久里浜に階段の無い神社があり、お守りは必ず自分で選んで買ってくる。桜の花見は小さい車で個別に行うようにしている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段は使用する機会がないが、お正月には初詣の際お守りを必ず自分で選んで買っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一部の方は電話をかけられるが、ほとんど出来ない。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の様子は外の景色で感じられる。室内の温度・湿度の管理は十分している。	季節の様子は外の景色で感じられる。室内の温度・湿度の管理は十分している。好みで自室に暖簾を付ける人がいたり、音楽療法の延長線で好きな音楽番組を見たり、動物番組を見たり、自分たちの作品を飾ったりしている。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室のため自分の時間はとれる。TVの前は気の会う人同志で居られる。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家庭で使用していた暖簾を持ってきていただいたり、ご家族の写真を飾っている。	ご家庭で使用していた暖簾を持ってきていただいたり、ご家族の写真を飾っている。寝たきりの人もリビングで皆と一緒に過ごしている。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は自由に行動でき、できることは手助けをしながら行って頂いている。			

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホームみうら富士

作成日

平成21年 11月

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
	35	災害に対する訓練	訓練の日を設ける	災害を想定し計画する	3ヶ月
	49	外出の機会が少ない	外出を計画する。	家族に協力を求める	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。